

医療・健康系 履修モデル

心理学の全体像を把握し
人間理解の基盤を作る

心理学の幅と深さにふれ、
科学的方法の基礎を身につける

心の専門家としての基礎実践
力を養う

学びを統合し、キャリアへと結び
つける

◎心理学必修科目
○心理学選択科目

	1年次履修科目	2年次履修科目	3年次履修科目	4年次履修科目
卒業論文				卒業論文
心理学応用融合科目	心理学の実践とかかわる科目群を履修し、心理援助職の異なる領域の理論と実践について学ぶ	○健康心理学 ○心理療法学 ○障害臨床心理学 ○心理臨床アセスメント ○医療心理学	○臨床医学概論 ○心理臨床学 ○障害臨床心理学演習 ○心理療法学演習	医療や保健の領域での心理学実践のあり方についてさらに理解を深めていく
心理学応用実習・演習科目			○心理臨床実習I ○心理臨床実習II	臨床現場における体験学習を通して、心理専門職の技能を磨く
心理学応用共通科目		心理学実践の基礎的な技能を実習的に身につける	○心理臨床に関する法と制度 ◎心理学専門英語	
心理学基礎演習科目	◎心理学基礎演習	◎心理統計法 ◎心理学基礎実験演習 ◎心理学基礎実践演習	○心理学実践演習：質問紙法	実践現場で役立つ研究法を学び、科学と実践の統合を目指す
心理学基礎講義科目	◎臨床心理学概論	◎認知心理学概論 ◎発達心理学概論 ◎教育心理学概論 ◎社会心理学概論 ○心理職の職業倫理		
心理学導入科目	◎こころの科学 ◎こころの科学：研究と実践	人間の存在をとりまく、生命、自然、文化、環境について広い視点から考える		
文理融合L A科目	生命と環境（生命の科学） 生命と環境（生物人類学）			
全学共通科目等	Advanced Communication Training パーソナル・ブランディング 生活科学概論	4年間の学びを自身のキャリアという長期的展望そして世界的視点から捉える		

医療・健康系履修モデルの特色

- 将来的に心理専門職に就くことを想定した履修モデル
- 焦点：医療保健分野を中心にさまざまな領域における実践のあり方とその理論について学ぶ。そのために、学内外の実習に取り組み、知的理解と体験的理解を統合する
- コンピテンス：科学的方法と実践的応用力の双方を育てる
- 活躍できるフィールド：大学院進学、医療保健機関への就職、心理専門職